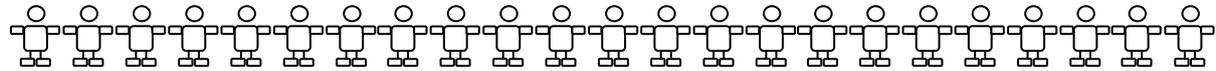


発行：2019年 第3号 11月1日（金）

三国中校区「なかよし地域ネット」通信

発行者：三国中校区「なかよし地域ネット」人権のまちづくり推進連絡会
会長 中間 敏久 / (文責) 事務局長 楠 良司

連絡先：小郡市教育委員会 人権・同和教育課 電話 72-2111 内線532



第4回 三国中校区「人権のまちづくり交流会」のご案内

子どもたちの「作文発表」や、夢に向かって自分らしく進む東川さんの講話を聞いて、みんなで一緒に「人権」について考える機会にしましょう。

どなたでも自由に参加できます。たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。(参加費 無料)

日時 令和2年1月25日(土) 交流会 10時~12時30分(受付9時30分~)

会場 ふれあい館三国 大ホール

内容 ①小・中学生の作文発表(のぞみが丘小学校 三国小学校 三国中学校)

②三国中校区人権問題啓発推進委員会 視察研修報告

③講話「こころのバリアフリー」 東川 結 さん(美鈴が丘在住のイラストレーター)



小学校で講演会が開催されました

のぞみが丘小学校、三国小学校で、10月26日(土)にPTA主催による講演会が行われました。



【のぞみが丘小学校】

作家のくすのきしげのり先生をお迎えしました。講演の中で、子どもたちに「おごだでませんように」の絵本を読んでいただき、「僕は悪い子なんやろうか?」「実はこの絵を見ると、優しさが見えてくる」など気づきの場面をとらえて、お話しされました。数々の絵本のつながり(秘密)の内容もあり、子どもたちは嬉しそうに関心を高めていました。

保護者と地域向けの講演では、「想像する力」「共感する力」を育てる大切さ、様々な生活の場面でも時々揺れ動く心に気づく大切さをお話しされました。



【三国小学校】

スクールカウンセラーの片山綾子先生によるお話がありました。脳には「記憶する力」「話す力」「見通しを立てる力」など様々な力があり、この力の強弱がその人の脳の使い方の特徴となり、それが「みんな違ってみんないい」ということだと話されました。そして、脳の使い方「不得意」が生まれ「困り感」が生まれます。「困った行動」をしている子は、実はその子自身が「困って」いてSOSを出しています。子どもたちのSOSを見逃さずに見守っていきましょう。地域の方たちも、多く参加されていて、地域で子どもたちを見守ろうという雰囲気での講演会でした。

~~~~ 子どもたちが、未来に向かって、心も体も健やかに成長することを願っています ~~~~